

＜クリスマス・ドロップ作戦＞同盟国と作戦を準備（1） 374th Airlift Wing and allies prepare for Operation Christmas Drop

December 6, 2021

By Tech. Sgt. Joshua Edwards
374th Airlift Wing Public Affairs

（写真1）12月1日、70周年を迎えるクリスマス・ドロップ作戦に参加するため、グアムのアンダーセン空軍基地の滑走路を走行する横田基地の第36空輸中隊所属機C-130Jスーパーハーキュリーズ。同作戦は、国防総省が実施する人道支援および災害救援の訓練任務としては最も長い歴史があり、太平洋にある50以上の島々に救援物資を届ける。こうした作戦を通じて、米国とパートナー国は共同作戦能力を強化し、実際の緊急事態への備えを維持する。



1

（写真2）グアムのアンダーセン空軍基地に着陸する態勢に入る韓国空軍第251空輸中隊所属機C-130Hスーパーハーキュリーズ。韓国空軍がクリスマス・ドロップ作戦に参加するのは今年が初めてで、同作戦の一環としてミクロネシア連邦とパラオ共和国に住む2万人の島民へ食糧および物資を届けるのを支援し、米国とともに人道支援と災害救援のスキルを向上させ、実際の緊急事態に備えて共同能力の強化を図る。



2

（写真3）グアムのアンダーセン空軍基地に着陸後、挨拶を交わす横田基地所属の第374空輸航空団と航空自衛隊第401飛行隊の隊員たち。第374空輸航空団と第401飛行隊は、クリスマス・ドロップ作戦において、ミクロネシア連邦およびパラオ共和国の2万人以上の島民に支援を行う。この作戦で、米国は太平洋地域の同盟国やパートナーと共に訓練を行い、人道支援や災害救助の際に迅速かつ効率的に対応するために必要な共同スキルの向上を図る。



3

＜クリスマス・ドロップ作戦＞同盟国と作戦を準備（2）
374th Airlift Wing and allies prepare for Operation Christmas Drop

December 6, 2021

By Tech. Sgt. Joshua Edwards
374th Airlift Wing Public Affairs

（写真4）12月1日、グアムのアンダーセン空軍基地に駐機した第36空輸中隊所属機C-130Jスーパーハーキュリーズから電力機器の CART を降ろす第374空輸航空団の隊員。



4

（写真5）12月1日、グアムのアンダーセン空軍基地に駐機した横田基地第36空輸中隊所属機C-130Jスーパーハーキュリーズから荷物を降ろす同中隊の隊員。



5

（写真6）12月2日、70周年を迎えるクリスマスドロップ作戦のため、グアムのアンダーセン空軍基地から飛び立つ横田基地第36空輸中隊所属機C-130Jスーパーハーキュリーズ。



6